

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	環境保全課長	丸山剛
環境－18 環境美化事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	環境保全課
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針
			まちの美化

1 事業の目的

対象	市民等
意図	快適な生活環境の実現のため。
効果	散乱ごみ・不法投棄をさせない町づくりの促進を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

不法投棄防止の啓発や巡回業務を実施した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況			当初予算(千円)	542	
国県支出金		314	国県支出金		
地方債			地方債		
その他			その他		
一般財源	5,193	314	一般財源	542	
人員配置数	1.5	1.5	人員配置数	1.5	
人件費(千円)	11,164	11,446	人件費(千円)	11,439	
総事業費(千円)	16,357	11,760	総事業費(千円)	11,981	
市民1人当りの経費(円)	92	66	市民1人当りの経費(円)	68	
対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー まち美化推進員
事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ その他
		見直しの内容 「環境－19 美化運動事業」及び「環境－20 公衆トイレ事業」を本事業に統合し、拡充する。また本事業の名称を「まちの美化推進事業」に変更する。
予算規模の方向性	☒ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 「環境－19 美化運動事業」及び「環境－20 公衆トイレ事業」を合算する。いまだに多くの場所で不法投棄が見受けられるため、不法投棄等は違法行為であることの周知・啓発に努め、環境美化を推進事業の維持継続は必要である。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	不法投棄物については、散乱ごみ等を増やす原因になることから、早期に対応して状況の改善を図っている。限られた人員の中で対応に時間がかかることもあるが、観光客を含め、周知・啓発の広報や看板の設置など周知に努めて被害の拡大を防いでいきたい。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	ごみのポイ捨てや不法投棄をさせないまちづくりをめざし、観光客等に対し、ゴミを散乱させないように持ち帰り等の啓発を行い、ごみの削減を推進する。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	不法投棄物については、県とともに定期的なパトロールを実施した。また通報体制の構築や情報提供等の協力体制を整えた。観光客が多く集まる場所を中心にまち美化推進員や職員によりごみ散乱防止の普及・啓発活動を実施した。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	散乱ごみや不法投棄物の件数は、年々減少傾向にあるが、完全な防止には至っていない。引き続きゴミ散乱防止等の普及・啓発活動を実施した。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	不法投棄の処理件数					単位	件	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
不法投棄の防止を的確に反映するため	目標値	80	80	70	60	50		40		
	実績値	61	73							
	達成率	76.3%	91.3%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---